

まだ寒い日が続きますが、昼間は少し暖かい日も増えてきましたね。2月はインフルエンザが大流行しました。今月はいよいよ卒園式や、今のクラス最後の1カ月です。元気に新年度を迎えられるよう、病気やけがに気を付けて過ごしましょう。

2月の当園での感染症状況

インフルエンザA・B型…33名
溶連菌感染症 …3名
新型コロナウイルス …2名

2月はインフルエンザが流行し、クラス閉鎖などご協力をいただきありがとうございました。今年が開園以来、1年間の感染症発生が1番多い年となりました。コロナの制限が落ち着き、今まで免疫獲得していない疾患も多かったことも要因であるかもしれません。当園の感染対策については3/1のコドモン配信をご確認ください。

2月の保健指導

2月はつばさぐみに、身体のしくみについてお話をしました！身体の臓器の役割や骨についてお話をしました。3月は、つばさぐみに命についてのお話(妊娠から出産のお話や聴診器をつかって心臓の音を聞きます)や、幼児各クラスに耳についてのお話をする予定です。

3月3日は耳の日

「3」は耳の形に似ていることなどから3月3日は耳の日と言われています。耳は音を聴くだけでなく、平衡を司る大切な役目をしています。

また、子どもは鼻の奥と耳をつなぐ耳管が短く、喉や鼻の菌やウイルスが中耳にいきやすいため、中耳炎になりやすくなります。

以下のことに気を付けていきましょう！

こんな症状に注意しましょう！

- ・向かい合って話せば通じるが、背後から声をかけると返事をしない
- ・テレビの音量を大きくしたり近づいてみる
- ・会話をしているのに何度も聞き返す
- ・よく耳を触っている

上記の症状があれば耳鼻科を受診しましょう。また、鼻水が続くときは耳鼻科で中耳炎になっていないかどうかを診てもらっても良いでしょう。治っても風邪をひくとまたすぐに中耳炎になるケースも多いです。今まで耳鼻科を受診したことがない場合は、耳垢塞栓になる前に耳鼻科で定期的に耳掃除をしてもらうこともおすすめです。(1歳でも石のような耳垢が取れることがよくあります)

花粉症

2月後半から、目をかゆそうにしている子、くしゃみが多い子など、アレルギー症状かもという症状が多くみられるようになってきました。最近では子どもの花粉症も増え、小学生の約半数が花粉症症状があるといわれており、発症は低年齢化しています。(早ければ1歳頃に花粉症を発症することもあります)また、くしゃみや目のかゆみがなくても、花粉による肌荒れ(花粉皮膚炎)も増えています。花粉症になると鼻や目の不快な症状の他に、憂うつになったり、イライラしたりします。子どもは自分から不快を訴えることが難しいことが多いため、アレルギー症状が続く場合は早めに受診しましょう。

<かぜと花粉症の違い>

症状	かぜ	花粉症
原因	ウイルス、細菌	花粉
発熱	37℃以上の発熱あり。高熱になることも	ほとんど出ない。あっても微熱
くしゃみ	それほど続けて出ない	何度も続けて出る
咳	喉が痛み、咳が出る	咳がでることもあるが、喉の痛みはない
鼻水	始めはサラサラで、次第に粘り気が出て色も付く	サラサラで透明
目	ほとんど何の症状も出ない	涙が出る、かゆみ、充血
期間	1週間程度	花粉が飛んでいる間中

※花粉症の症状が出ると、鼻水や鼻づまりで口呼吸となり、喉にウイルスが付着しやすくなります。そうすると、花粉症と風邪が合併して症状が長引いてしまいます。